

お知らせコーナー

子育てサロン” ひろば”

と き：平成31年3月7日(木)
10:00~12:00

ところ：桜江保健センター

内 容：サンドイッチ・野菜スープをつくるよ!!

費 用：100円(材料費)

持参するもの：エプロン 三角巾



川戸地区親善G/G大会

日 時：平成31年3月17日(月)

場 所：桜江小学校グラウンド

参加費：無料

スタート：午前9：30

競技方法：8ホールの2ラウンド

参加資格：川戸地域にお住いの小学生以上の方

主催 川戸体育協会 共催 さわやかスポーツ



最終日は、3月15日です!!

確定申告をお忘れなく!!

申告相談日程(桜江地区)

3/1 (金) 市山交流センター

3/5 (火) 川越交流センター(水の国)

3/7 (木) 桜江総合センター

3/12 (火) 谷住郷交流センター

3/14 (木) 桜江総合センター

時間：午前9時30分~午後3時

※桜江地域内の、上記のどこの会場でも相談できます。

江津市役所においては、ほぼ毎日相談受付を行っています。(ただし、お休みの日もありますので、【広報かわらばん2月号 12ページ】でご確認ください。

~時の人・時の話題~

桜江中学校 生徒会長に

田平蒼太さん(2年生)が選出!

田平くんガンバレ!!

昨年の12月10日(月)生徒会選挙が行われ、生徒会長に2年生の田平蒼太さんが選出されました。

3学期が始まって間もなくの1月18日(金)に、2年生を中心にした生徒会が初めて行われました。

会長に選ばれた田平さんは抱負を次のように語っています。『僕は、「自分の意見を出し個性を理解しあえる学校」を目標に活動したいです。そのために、生徒同士が多く接する活動に力を入れていきたいです。みんなで一丸となり協力して、明るく楽しい学校にしたいです。』

桜江中広報誌「いわき第9号」記事より

岡田亮祐さん

「桜江神楽共演大会」を語る

甚大な被害をもたらした昭和47年7月の豪雨水害からの復興をテーマに始まった桜江町商工会青年部の主催で行われる「桜江神楽共演大会」。沖市の岡田亮祐さんは、山陰中央新報平成31年2月7日の『石見神楽温故知新』シリーズ⑬で、この「競演大会」が川戸社中の後継者対策、地元への定住促進にもつながると語り、

「先輩からの地域振興の思いを胸に、歴代の青年部員たちが運営に取り組んできた」また、桜江中学校体育館で開催されることで「日頃授業で使われている体育館が一日にして憧れの夢舞台になる。自分も中学生のとき、大人になったらここで舞えると思った」と述べています。

情報提供：船津正雄さん

「ありがとう三江線 1周年記念マルシェ」を開催します!!

3/31(日) 10時~14時 旧JR川戸駅舎周辺

フリーマーケット・野菜・特産品など出展者募集!!

急募

申込〆切：3/20(水曜日) 交流センター能美まで

Gmail:sakuraekawado@gmail.com
URL:https://www.facebook.com/kawado.community

【発行・編集】川戸地域コミュニティ協議会
〒699-4226
江津市桜江町川戸11-1 ☎ 0855-92-0026

【地域づくりの基本理念】誰もが支えあい、安心して暮らせる活力ある地域づくり

災害と家庭・地域の絆を考えるフォーラム

7月豪雨災害を乗り越えた地域の皆さんの体験談発表を今後活かす!!

2/24



2月24日(日)10時から、総合センター多目的ホールにおいて、平成30年7月豪雨がもたらした災害をふり返り、その時感じた地域の助け合いやつながりについてみんなで考える場(フォーラム)が開催されました。主催は、川戸地域コミュニティ協議会生涯学習・青少年健康育成部(今田隆文部長)で、中心となり企画実施しました。地域住民はもとより報道関係者も含め150人を超える参加があり、災害時の”絆”についての関心の高さを感じました。



桜江中学校吹奏楽部のみなさんの演奏



発表者：福島文雄・矢萩夢花・本山高子・船津正雄・水田卓彦・中村征雄の各氏(敬称 略)

小田の本山高子さんは、自分の避難体験をとおり「自分一人では何もできない。人と人との繋がりがどんなに大切かを学ぶ場となった」と感慨深く語り、実際に大被害に遭った後山中の水田卓彦さんは、ボランティア・民生委員・友人らの励ましが本当にありがたかったと思いを語りました。高尾の船津正雄さんは”正常性バイアス”(「自分は大丈夫」「大したことはない」と過小評価したり無視したりする人間の習性)を取り上げ、早目の避難を訴えました。

消防川戸分団の福島文雄さんは、いつ想定も出来ない大災害が起きてもおかしくないが、稼働できる団員が減少している現実を資料に基づいて話し、住民一人一人が災害に対して意識を高くする必要性を訴えました。

川越地域コミュニティ協議会会長の中村征雄さんは、川越地区の惨状を画像やデータで示し、自宅が浸水した矢萩夢花さん(5年生)は「多くの人に支えられて今がある」と述べ「自分も支える役に!」と小さな覚悟を披歴しました。



谷住郷保育所とさくらえ保育園の年長さん 18名による「きみとぼくのこころ」「手をつなごう」

石見ケーブルTVで
2/28(木)夕方5時から翌朝9時
まで1時間置きに放映されます!!

アンケートの結果は、来月号でお知らせいたします。

「暮らしの中の人権Ⅶ」～支え合い共に生きる～

講師：江津市教育委員会 社会教育指導員 二又茂樹さん



二又講師の話に、真剣に聞き入る皆さん

2月5日（火）、午前10時から正午にかけて【人権】について学ぶ講座が開催されました。この講座は毎年継続して学ぶことで人権とは何かを再認識する良い機会となっています。



今年も、多くの参加がありました。

講師の二又さんは、日露戦争の時、和木の沖合で座礁して沈没したイルティッシュ号の乗組員を、自分の家族のように思って救助した和木地区の人々の人類愛について取り上げました。

講義の後半では、「スタチの苗木」という鳴門市第一中学校生徒会制作の人権劇をDVDで視聴しました。

世界人権宣言が国連で1948年（昭和23年）に採択されましたが、まだまだ私たちの身のまわりには多くの差別が山積しています。しかし、『人間は平等』であるということは大切だと考えさせられた貴重な2時間でした。



絵本は、川戸地域交流センターにもあります。ご利用ください。

こつしょうしょう 『骨粗鬆症を予防しよう!!』～あなたの”骨”は、大丈夫ですか…？

2月21日（木）午前9時30分から、保健センター指導室において、市健康医療対策課健康増進系の保健師2名を招き、川戸健康づくり推進会（井上和子会長）の主催で「健康教室」が開催されました。

参加者（54名）の骨密度や握力・血圧の測定を行い、骨の健康度やカルシウムの摂取度をチェック表に記入しました。自分の現状を把握した後、骨粗鬆症の予防対策について具体的な話を聴きました。



佐々木保健師

山下保健師

お二人には、今後もお世話になります!!



骨密度は…!?

- 骨粗鬆症を予防するには…
- ①カルシウムを意識して食べる（三度の食事をバランスよく摂ることでカルシウムの吸収率も高まる）
 - ②適度な運動を心がける
 - ③喫煙・酒は適量（摂り過ぎるとカルシウムの吸収を妨げる）
 - ④外出の機会を増やす（日光浴によりビタミンDを増やす）
- ※骨粗鬆症の予防＝生活習慣病の予防

小田友和会

和氣あいあいの男性料理教室



また、
やろうで!!

「家でも、だいしょ〜やるで！日曜の朝の味噌汁は、わしの担当」「家じゃ〜やりゃ〜せんな〜!!かまわしてもらえんもん…」「人参は、どが〜切りゃ〜ええん…?」「何の気まりもなあんだけ〜好きなように切りゃ〜ええわ〜ね」小田集会所の台所では午前9時から、楽しい会話とともに次々と料理が出来上がっていました。初めて参加した方、補助（指導）役の女性陣もあわせて12人の協力で6品の料理が完成しました。出来映えも味付けも上出来でした。



【献立】シャコ飯、酢豚、酢芋、ブロッコリーの和え物、味噌汁



川戸グラウンドゴルフ同好会親善大会



優勝：入江 清さん
準優勝：水田卓彦さん
3位：鈿 静夫さん



2/16（土）、川戸コミュニティ交流センターグラウンドにおいて会員の親睦と健康の維持増進を図ることをめざし、川戸グラウンドゴルフ同好会（水田卓彦会長）の主催で親善大会が開催されました。雨が心配されましたが、【3ラウンド合計打数】での競技を行うことができました。

大会終了後は、場所を保健センターに移し、初打ち恒例の『手作りぜんざい』を味わいながら表彰式が行なわれ、豪華賞品が入賞者ならびに参加者に手渡されました。

桜江体協主催 バドミントン大会・卓球大会 結果



バドミントン団体戦の部
優勝：谷住郷体協(32P)
準優勝：川戸体協 (14P)
バドミントン男子ダブルスの部
3位：前田広茂・坂根由華さん

- ・卓球団体戦の部
優勝：川戸体協
準優勝：長谷体協A
3位：谷住郷体協A
- ・卓球個人戦男子Aの部
優勝：田中大規さん
- ・卓球個人戦男子Bの部
優勝：森野 紀さん
- ・卓球個人戦女子の部
優勝：田中かすみさん



好成績の川戸体協のみなさん

卓球大会川戸チームメンバー
森野 紀さん 田中 大規さん
本山 泰志さん 田中かすみさん
山本 英二さん